

「徳島県教育振興計画（第4期）」の「成果指標」項目一覧（案）

重点項目	推進項目	成果指標項目	指標の説明
I	1	・学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う児童生徒の割合 【指標】(R4) 小学校 93.4%等 → (R8) 小中ともに全国平均以上	毎年小6・中3対象の全国学力・学習状況調査において、「ICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」という質問に対して肯定的な回答をした児童生徒の割合を指標として設定。
		・エシカル消費実践事例数 【指標】(R4) エシカルクラブ実践事例数 40事例 → (R8) 160事例(R5からの累計)	
	3	・生徒の英語力(文部科学省 英語教育実施状況調査) 【指標】求められる英語力を有する生徒(中3生)の割合 (R4) 52.1% → (R8) 60.0% 等	毎年実施されている文部科学省「英語教育実施状況調査」における「求められる英語力を有する生徒」の割合。国際社会で活躍するためには、英語力が重要なことから、この指標を設定。
・「全国学力・学習状況調査」の県の平均正答率と全国との比較(文部科学省 全国学力・学習状況調査) 【指標】(R4) 小学校国語 64.0%等 → (R8) 国語、算数(数学)ともに全国平均以上		毎年小6、中3を対象に全国で行われている学力調査における県の平均正答率と全国との差。基礎的な学力の上昇が、将来の選択肢を広げることから、この指標を設定。	
II	5		・「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の県の平均得点と全国との比較(スポーツ庁 全国体力・運動能力、運動習慣等調査) 【指標】(R4) 小学校男子 49.6点等 → (R8) 小中男女ともに全国平均以上
		・多様な主体と連携した探究活動の好事例発表校数 【指標】(R4) 3校 → (R8) 24校(R5からの累計)	
	6	・多様な主体と連携した探究活動の好事例発表校数 【指標】(R4) 3校 → (R8) 24校(R5からの累計)	自ら考え行動できる力を培うことのできる課題解決学習を更に推進していくためには、各学校の特色に合わせ、多様な取組を横展開させることが重要であることから、この指標を設定。
III	7	・地域の賑わい創出のための地域連携イベントを開催した学校数 【指標】(R4) 3校 → (R8) 11校(R4からの累計)	地域とともに一人一人が活躍できるコミュニティづくりを推進することが、「誰ひとり取り残すことのない社会」の実現につながるものであることから、この指標を設定。
		・いじめ解消率(県教育委員会人権教育課調べ) ・生徒主体の校則見直し(県教育委員会人権教育課調べ) 【指標】・いじめ解消率 (R4) 94.1% → (R8) 100% ・生徒主体の校則見直し (R4) - → (R8) 100%	
	9	・学校内外の機関等で相談・指導等を受けた割合(文部科学省 問題行動・不登校調査) 【指標】(R4) 50.1% → (R8) 100%	誰一人取り残されない学びの保障に向けた「COCOLOプラン」を踏まえ、全ての不登校児童生徒を相談や学びにつなげることが重要であることから、この指標を設定。

重点項目	推進項目	成果指標項目	指標の説明
IV	10	・「まなびーあ徳島」主催講座の受講者数(県総合大学校本部調べ)	まなびーあ徳島主催講座の受講者数。受講者数の増加が、多様な人材育成につながるものであることから、この指標を設定。
		【指標】(R4) 64,745人(累計) → (R8) 85,000人(累計)	
	11	・県立学校トイレの洋式化率(県教育委員会施設整備課調査)	いつでも誰もが使いやすいトイレ環境を整備するため、県立学校でのトイレの洋式化を推進していることから、この指標を設定。
【指標】(R4) 54% → (R8) 100%			
12	・「こどもの居場所」箇所数(県届出箇所数及び県社会福祉協議会による基金助成団体数)	「こどもの居場所」は、子ども食堂やプレイパーク、フリースクールなど、地域における安全安心な交流の場であり、多様な居場所の増加が、子どもの健やかな成長につながることから、この指標を設定。	
	【指標】(R4) 98箇所(累計) → (R8) 154箇所(累計)		
V	13	・地域コーディネーター養成講座受講者数	小中学校区での地域学校協働活動の推進を目指し、全ての市町村での学校と教育支援人材の連絡調整等を行う人材の充足に向けて、養成講座を開催していることから、この指標を設定。
		【指標】(R4) — → (R8) 100人(R5からの累計)	
	14	・教職員防災士・高校生防災士の養成者数	学校における災害対応能力の向上及び地域の防災力の向上に資することを目的として、教職員及び高校生に、専門的な防災活動の知識技能を身に付け、地域防災の活力とするため、この指標を設定。
【指標】(R4) 教職員 170人、高校生 840人(累計) → (R8) 教職員 288人、高校生 1078人(累計)			
15	・教員一人あたりの月平均時間外在校等時間(県教育委員会教育政策課調べ)	国の指針において示されている上限の指標についても「時間」設定であるため、この指標を設定。	
VI	16	・「とくしま競技力向上指定校事業」全国高等学校総合体育大会等の出場率	「とくしま競技力向上指定校事業」では、県内公立高校の運動部活動のうち21校37部を指定し、遠征等の強化活動支援等を行い、競技力向上を図っていることから、この指標を設定。
		【指標】(R4) — → (R8) 37/37部	
	17	・県中学校及び高等学校総合文化祭への参加生徒数	県中学校総合文化祭及び高等学校総合文化祭は、生徒の文化芸術活動の成果発表の場であり、参加数は文化芸術活動の広がりを表すことから、この指標を設定。
【指標】(R4) 3,085人 → (R8) 10,000人(R5からの累計)			
18	・県内中学生における「あわ文化検定」の受検者数	PDF版「あわ文化テキストブック」を用いた「あわ文化検定」のオンライン受検者数。「あわ文化」教育の実施状況を反映するものであることから、この指標を設定。	
		【指標】(R4) 1,346人 → (R8) 4,000人(R5からの累計)	